

在学留学の手引き

2023



◆ 目次 ◆

～前編～

1. 在学留学制度（留意事項） 留学アドバイザー	1
2. 在学留学の種類	2
3. 在学留学の資格要件	3
4. 留学期間	5
5. 研究演習の履修	6
6. 申請手続（出国までの流れ）	7
7. 外国留学支援金	9
8. 継続履修制度	10
9. 単位認定の基準	11
10. 単位認定申請手続（単位認定までの流れ）	12
11. 在学留学Q&A	13
12. その他	14
13. 様式見本	15

・ 出発前に提出する書類：認定留学申請書類（見本）

～後編～

単位認定申請書類作成マニュアル

1. 留学の単位認定申請資料作成手順と注意点	20
2. 在学留学帰国後提出書類Q&A	28

外国語学部

2023年4月更新

1. 在学留学制度（留意事項）

- 「在学留学」とは、本学学則第 18 条の 2 第 2 項の規定により、所定の審査基準を充たす学生が大学の許可のもと、在学の状態外国の大学へ留学することをいいます（「休学」による留学は該当しません）。
- 在学留学の場合、留学期間は修業年限に含みます。なお、留学の始期・終期は、実際の出国・帰国日ではなく、各学期の始業・終了日のいずれかの日付に読み替えます。
- 在学留学として認められる外国の教育機関
 - ① 外国における正規の高等教育機関で、学位授与権を有するもの。
 - ② 前述の高等教育機関が付設する、外国人のための語学集中履修コース。
- 在学留学では、留学先の大学で修得した単位の単位認定申請手続きをしなければなりません。単位認定を 1 科目も申請しない在学留学は認められません。認定単位は、留学先大学での学修に対して、学生本人からの申請に基づき、留学アドバイザーによる審査・教授会の承認を経て決定します。ただし、留学先での学修については、審査を行うので、申請どおり全て認められるとは限りません。また、1 年間の在学留学で最大 48 単位（1 学期間在学留学の場合は最大 24 単位）まで認定が可能ですが、短期語学実習で既に修得した単位もこの 48 単位に含まれますので注意してください。
- その他
 在学留学は、あなたの留学計画が承認され、大学の許可を得るというプロセスが必要です。
 また、一旦、許可された計画（留学期間・留学先）を、勝手に変更することは認められませんので注意してください。

留学アドバイザー

留学アドバイザーは各学科・専攻ごとに設けられており、留学先での履修計画の指導や単位認定の審査を行う教員のことです。行き先に関わらず、所属の学科・専攻の留学アドバイザーに相談しなければなりません。

例：日本語・コミュニケーション専攻で「専攻インドネシア語」を履修している学生の場合
 留学アドバイザーになれるのは、日本語・コミュニケーション専攻の先生です。
 インドネシア語の先生は留学アドバイザーになれません。

○は在学留学を希望する学生からの相談を受ける窓口となる教員

学 科	専 攻	留学アドバイザー		
英語		○桜井 延子	エリザベス・ラボレット	瀧口 いずみ
		鈴木 雅恵	鈴木 孝明	大和 隆介
ヨーロッパ言語	ドイツ語	岩崎 周一	島 憲男	ヴァイヒャート・カースティン ※ゼミ生のみ
		山取 圭澄		
	フランス語	伊ヶ崎 泰枝	井上 俊博	ブルーノ ティノ エリック
		長谷川 晶子		
	スペイン語	○下田 幸男	仁平 ふくみ	フェルナンデス コボ カルロス ビセンテ
	イタリア語	○内田 健一	ディオダート・フランチェスコ	
	ロシア語	○北上 光志	木寺 律子	
メディア・コミュニケーション	堀川 諭			
アジア言語	中国語	池田 昌広	今村 圭	関 光世
		澤田 達也	島山 香織	前田 比呂子
	韓国語	金 紋敬	杉山 豊	朴 真完
	インドネシア語	○安田 和彦	エディ プリヨノ	澤井 志保
	日本語・コミュニケーション	今西 利之 渡辺 史央	玉村 禎郎	盛田 帝子

2. 在学留学の種類

長期在学留学（半年から1年）には次の3種類があります。

- ① 交換留学…本学の交流協定校に学部留学若しくは大学附属語学コースに留学をする制度です。学生交換協定に基づき、先方の授業料が免除になるので他の留学制度よりも留学費用が安価になります。本制度を利用するには、募集期間に応募書類等を提出し、後日行われる面接を受けて合格する必要があります。交換留学については、応募の学力要件として学業成績表で GPA2.0 を下限としております。
- ② 派遣留学…本学の交流協定校の大学附属の語学コースに留学をする制度です。先方への授業料が必要です。本制度を利用するには、募集期間に応募書類等を提出し、後日行われる面接を受けて合格する必要があります。
- ③ 認定留学…自分で探した大学へ留学する制度です。留学先として選べる大学は、学位授与権のある大学に限ります。先方への授業料が必要です。留学先とのやり取りは、全て独力で行います。また、本学への書類提出等、手続きの窓口は所属学部事務室になります。自分の留学計画にあったコース等があるのかなどの最新情報は、各自、希望先の大学に問い合わせてください。また、入学許可取得のための手続き方法等についても、すべて、各自の責任において調べ、対応してください。※過去に留学実績がない大学へ認定留学を希望する方は、事前に国際交流センター事務室で相談をしてください。(認定留学の実績大学は以下リストを確認してください)

●交換・派遣留学の実施プログラムは、大学のホームページにて確認できます。

※募集プログラムについては、国際交流センター主催の募集説明会にて、確認してください。

◆認定留学の実績大学（平成13年度以降の認定実績大学（他学部含む））

(アメリカ)		(カナダ)	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリフォルニア大学アーバイン校 ・カリフォルニア大学サンタバーバラ校 ・カリフォルニア大学サンディエゴ校 ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校 ・カリフォルニア大学リバーサイド校 ・カリフォルニア大学サンタクルーズ校 ・カリフォルニア州立大学ディビス校 ・カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 ・カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校 ・カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 ・サウス・カロライナ大学 ・オレゴン州立大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンディエゴ州立大学 ・テネシー大学 ・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 ・ノーステキサス大学 ・フロリダ・インターナショナル大学 ・ペンシルバニア大学 ・ワシントン大学 ・ポートランド州立大学 ・ミズーリ大学セントルイス校 ・ユタ大学 ・ハワイ大学ヒロ校 ・ハワイ大学マノア校 	<ul style="list-style-type: none"> ・アカディア大学 ・アルゴマ大学 ・アルゴンキン大学 ・アルバータ大学 ・トンプソンリパーズ大学・カルガリー大学 ・サスカチュワン大学 ・セントマリーズ大学 ・トロント大学 ・ビクトリア大学 ・ブリティッシュ・コロンビア大学 ・ヨーク大学 	
(オーストラリア)		(ニュージーランド)	(イギリス)
<ul style="list-style-type: none"> ・エディス・コーワン大学 ・国立ニューカッスル大学 ・国立カーティン大学 ・国立クインズランド大学 ・セントラルクィーンズランド大学 ・フリンダース大学 ・南オーストラリア大学 ・メルボルン大学 ・ニューキャッスル大学 ・西オーストラリア大学 ・グリフィス大学 ・タスマニア大学 ・マッコーリー大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・A I Sセントヘレンズ ・オークランド工科大学 ・オタゴ大学 ・カンタベリー大学 ・ワイカト大学 ・マセイ大学 ・オークランド大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエストミンスター大学 ・ウチワードブルック大学 ・サセックス大学 ・ブライトン大学 ・リーズ大学 ・ロンドン芸術大学 ・ブルネル大学 ・カバリー・クワイ・チャイ大学 ・リージェント大学 ・ヨークセントジョン大学 	
	(マレーシア)		(アイルランド)
	<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア科学大学 		<ul style="list-style-type: none"> ・ダブリン市立大学 ・ダブリン大学 ・グリフィスカレッジ
			(フィンランド)
			<ul style="list-style-type: none"> ・ユヴァスキュラ大学
			(ポーランド)
			<ul style="list-style-type: none"> ・国立アダム・ミチェヴィチ大学
(中国)		(フランス)	(ドイツ)
<ul style="list-style-type: none"> ・青島大学 ・海南師範大学 ・雲南民族大学 ・吉林大学 ・清華大学 ・清華美術学院 ・上海外国語大学 ・上海戲劇学院 ・上海交通大学 ・上海財經大学 ・上海師範大学 ・上海對外貿易学院 ・上海大学 ・首都經濟貿易大学 ・首都師範大学 ・西安交通大学 ・西北大学 ・蘇州大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・對外經濟貿易大学 ・大連交通大学 ・大連鉄道学院 ・大連理工大学 ・中央戲劇学院 ・中央民族大学 ・中国伝媒大学 ・中南民族学院 ・中山大学 ・中国海洋大学 ・中国人民大学 ・天津師範大学 ・天津商学院 ・天津理工大学 ・南開大学 ・南京師範大学 ・南京大學 ・伝播大学 ・ハルビン師範大学 ・華南師範大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・華南理工大学 ・華東師範大学 ・北京大學 ・北京科技大学 ・北京外国語大学 ・北京語言文化大学 ・北京師範大学 ・北京第二外国語学院 ・北京体育大学 ・北京広播学院 ・北京理工大学 ・北方交通大学 ・山東師範大学 ・遼寧師範大学 ・浙江大学 ・烟台師範学院 ・聊城師範学院 ・香港中文大学 ・復旦大学 ・東北財經大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・アヴィニヨン大学 ・エクス＝マルセイユⅢ大学 ・ナンテニス＝ジヤン＝モネ大学 ・シャルル・ド・ゴール＝リールⅢ大学 ・西部カトリック大学 ・ナント大学 ・ニース大学 ・ブルゴーニュ大学 ・プロヴァンス大学 ・ニス＝ツヴィン＝アング＝リス大学 ・ルマン＝イビジ＝ネスクール提携校カン大学 ・ベルビニヤン大学 ・ボー大学 ・ボ＝ル＝グ＝アル＝モンペリエⅢ大学 ・ミジエ＝ド＝モンテニユ＝モンペリエⅢ大学 ・リュミエール＝リヨンⅡ大学 ・リヨンをカトリック大学
			(オーストリア)
			<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン大学
			(イタリア)
			<ul style="list-style-type: none"> ・ペルージャ外国人大学 ・シエナ外国人大学 ・サレント大学 ・フィレンツェ大学
			(アルゼンチン)
			<ul style="list-style-type: none"> ・ブエノスアイレス大学 ・ブラス＝パスカル大学 ・ベルグラノ大学 ・国立ラプラタ大学
			(チリ)
			<ul style="list-style-type: none"> ・チリカトリック大学
			(メキシコ)
			<ul style="list-style-type: none"> ・グアダハラハラ大学 ・グアナファト大学 ・メキシコ国立自治大学

(韓国)	(台湾)	(ロシア)	(ウクライナ)
<ul style="list-style-type: none"> 梨花女子大学 慶熙大学 成均館大学 建国大学 弘益大学 釜山外国語大学 崇実大学 	<ul style="list-style-type: none"> 淡江大学 国立台湾師範大学 輔仁大学 国立政治大学 	<ul style="list-style-type: none"> ウラル・カザン大学 モスクワ国立大学 プーシキン記念ロシア語大学 ウラル・カザン連邦大学 	<ul style="list-style-type: none"> オデッサ大学
(インドネシア)	(フィリピン)	(ベトナム)	(ベラルーシ)
<ul style="list-style-type: none"> ガジャ・マダ大学 ウダヤナ大学 パジャジャラン大学 インドネシア教育大学 サナタダルマ大学 ダルマプルサダ大学 	<ul style="list-style-type: none"> ラサール大学 ピサヤ大学 サンアグスティン大学 	<ul style="list-style-type: none"> ホアセン大学 	<ul style="list-style-type: none"> ベラルーシ国立大学 ミンスク国立言語大学
		(チェコ)	(マルタ共和国)
		<ul style="list-style-type: none"> パラツキー大学 メトロポリタン大学プラハ 	<ul style="list-style-type: none"> マルタ大学

3. 在学留学の資格要件

在学留学を希望する場合は、下記の条件を満たしていなければなりません。

なお、危険地域等で留学するのにふさわしくないところへの留学は認められません。

許可された後であっても、学業不振、書類提出の締め切りを守らない、説明事項が理解できない、オリエンテーションへの無断欠席が続くなど、留学するに相応しくないと外国語学部長が判断した場合は、留学前・留学中に関わらず留学を取り消し、「留学中止」とする場合があります。

①本学部に1年以上在学し、下記の授業科目（単位数）を修得していること。

留学(出発)セメ	基準単位数	
3セメ～	1セメ終了時	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 5 単位を含む有効単位 15 単位以上
4セメ～	2 "	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 10 単位を含む有効単位 30 単位以上
5セメ～	3 "	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 15 単位を含む有効単位 45 単位以上
6セメ～	4 "	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 20 単位を含む有効単位 60 単位以上
7セメ～	5 "	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 20 単位を含む有効単位 75 単位以上
8セメ～	6 "	インテンシブ科目もしくは専攻○○語 20 単位を含む有効単位 94 単位以上

②心身共に留学に耐え得る健康状態である者。

※健康状態について、交換・派遣留学の合格者には大学として健康診断を実施し、結果によっては留学不許可となります。

③留学先の大学等の要件を満たす者。

※学力に関して、留学先大学のプログラムによっては所定の GPA を要求されます。GPA は通算スコアとします。また、語学力に関して、英語による留学については、TOEFL あるいは IELTS のスコア提出が必要です。英語以外の留学については、語学力証明書（検定試験等）または担当教員による語学力証明書が必要です。

④保証人の承諾が得られる者。

⑤留学目的および留学計画が明確で適切であること。

※学部留学を目指す方は、希望大学のホームページ等でシラバス等を熟読し、履修できる科目を調べたうえで留学計画を立てること。

⑥認定留学の場合は、留学先の入学許可を得ていること。

※留学先大学からの入学許可を得ることが正式な留学許可の条件となります。

※認定留学は、留学準備を自立的に進める必要があります。自身で留学先大学に申請し入学許可を取得してください。留学先大学やコース、プログラム等により異なりますが、入学許可書を申請するために求められる書類（英文健康診断書、英文成績証明書等、自身の語学能力を証明する書類等）が出せない場合は許可がでないことがあります。

⑦交換・派遣留学を希望する場合、上記①～⑥以外に下記の応募資格を有していること。

●英語による留学

英語による留学を希望する学生は、TOEFL-IBT・TOEFL-ITP あるいは IELTS の得点表を必ず提出のこと（イギリス留学の場合は、IELTS for UKVI のスコアが必要）。

※交換留学の場合、TOEFL-ITP での応募はできません。

また、派遣留学の場合、留学先の大学によっては TOEFL-IBT あるいは IELTS の得点表を提出する必要があります。

（注）TOEFL-ITP とは学内で実施される模擬試験です。公式スコアではありません。

●英語以外の留学

英語以外の留学を希望する場合は、語学力検定（KDS, GDS, ドイツ語技能検定試験, HSK, 中国語検定, 実用フランス語技能検定試験, DELF, DALF, TCF 等）のスコア表を提出のこと。

ただし、これらの証明書がない場合は、各自、自分をよく知る語学担当の教員へ「語学力証明書」の記入を依頼し、教員から国際交流センター事務室へ提出してもらうこと。なお、教員へ依頼するときには募集要項と自分の学業成績表も見てもらい、必要な語学力レベルを確認してもらうこと。（特に学部留学レベルの資格がいる場合に注意）。

注意事項

① ビザ（入国査証）

「留学」など、「観光」以外の特定の目的で外国に入国する場合、それぞれの目的にあったビザ（入国査証）を取得する必要があります。入国後に現地で滞在許可証を取得することが求められる場合もあります。これらの手続きなしに、外国に長期滞在することはできません。留学予定国のビザ申請方法や必要書類等は個人の出入国に関する重要なものですので、取得手続きや更新・管理等、すべて個人の責任で行ってください。

※ビザ取得のために、預金残高証明、預金通帳のコピーあるいは現物、海外旅行保険の付保証明、翻訳証明、無犯罪証明書、感染症検査証等の提出が必要な場合もあります。国によって必要書類や申請方法が異なるうえに、費用や条件等も予告なく頻繁に変更されますので常に最新情報を確認しなければなりません。手続きや結果における責任はあくまでも申請者個人に委ねられていることを理解しておいてください。

②海外旅行保険への加入

外国では、日本で加入している健康保険等は使用できません。また、一般的に海外在留中にはその国の社会保険制度も適用されず、日本のような公的な社会保障制度がない国もあります。万一、ケガや病気になったら、非常に高額の治療費が必要となります。危機管理として出発日から帰国日までをカバーする日本の海外旅行保険に加入することを義務付けます。※無保険での海外渡航は大学として許可しません。

●保険内容は、下記をカバーするものが最低限必要です。

傷害死亡、傷害後遺障害、疾病死亡、・治療・救援費用（無制限のもの）…ケガ・病気等の治療、救援で家族が負担する費用の補償、・個人賠償責任保険や留学生賠償責任…法律上の損害賠償責任を負った場合、・留学生生活用動産…身の回り品が損害を受けた場合

●さらに、次のような保険にも加入することをお勧めします。

・テロ等対策費用…テロに遭い、帰国が遅れ宿泊代を負担したなどの場合

③個人レベルでの危機管理

留学を希望される方は、卒業までの履修計画や将来の進路も熟慮のうえ、十分な計画を立てることが望まれます。また、海外に留学するのですから、それぞれの国によってさまざまな法律、規則や慣習があり、日本では当たり前のことが当たり前でないことが多々あるということを十分認識しておく必要があります。留学してから戸惑うことのないよう、希望する留学先国の歴史、文化、慣習、社会等を留学前に理解するとともに、留学後に適切に行動することが肝要です。また、日本国外務省の危険情報等を確認し、現地の最新の危険情報や社会情勢を把握しなければなりません。

④海外での車の運転禁止

自動車（二輪含む）の運転は大学として禁止します。

⑤留学に必要な経済力を十分に有していること。

※留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、大使館や派遣先大学等への提出書類として金融機関の残高証明書や通帳コピーの提出が必要となることがあります。

4. 留学期間

在学留学制度を利用できるのは、在学期間中通算して1年以内です。

- ① 交換・派遣留学の留学期間は原則1年間（半年間の場合もあり）、認定留学の留学期間は、1年間または1学期間とします。
- ② 留学先での滞在期間（授業期間を含む）は、原則として1学期間の場合、春学期始業または秋学期始業から起算して最低3ヶ月以上、また1年間の場合、最低9ヶ月以上なければなりません。
- ③ 留学期間の延長（留学期間が1年または1学期間のいずれの場合も）は認められません。

●引き続き留学したい場合

→「休学」して留学しなければなりません。

この場合でも、一旦帰国して単位認定申請をし、認定の審査を受けなければなりません。また、期限内に「休学願」および「渡航計画書」を外国語学部事務室に提出する必要があります。（休学願提出期限については、履修要項「学籍」を参照）

※休学して留学する場合は、単位認定はできません。

休学できる期間は連続して2年以内、通算して4年以内です。

●再度認定留学をしたい場合（1学期間の認定留学者のみ対象）

→ 1学期間認定留学に行った場合、帰国後1学期間以上本学で履修した後、再度申請手続きをとれば、あと1学期間のみ再度認定留学に行くことが可能です。

- ④ 単位認定される短期語学実習と在学留学制度の併用は可能です。ただし、P. 1にも記載してあり、短期語学実習で修得した単位をあわせて最大48単位までしか本学の単位として認められませんので、十分注意してください。

5. 研究演習の履修

外国語学部専門教育科目「研究演習Ⅰ～Ⅳ」の履修について

3年次から研究演習の履修が始まります。留学先大学で修得した単位等は、研究演習の単位として認定されませんので、必ず本学で履修し修得しなければなりません。(研究演習の履修方法は、履修要項に記載しています。応募要領はPOSTで案内します。)

3年次春学期の「〇〇研究演習Ⅰ」と3年次秋学期の「〇〇研究演習Ⅱ」、4年次春学期の「〇〇研究演習Ⅲ」と4年次秋学期の「〇〇研究演習Ⅳ」は、同じ担当者のもを連続して履修しなければなりません。ただし、在学留学の場合のみ、留学する期間によって、以下の履修パターンが認められます。なお、2年次秋学期(4セメスター)には、対象者全員、研究演習に応募しなければなりません。応募時に留学中であっても、Webでの申請が可能ですので、留学先から申込み手続きを行ってください。留学出発前に、必ず留学アドバイザーに相談のうえ研究演習の履修計画を立ててください。特に、応募する学期(4セメスター(秋学期)、6セメスター(秋学期))に留学する場合は、応募スケジュールを確認しておいてください。

研究演習の登録システムにログインするには、POSTのログインID、パスワードが必要です。出国前に必ずパスワードを確認し、忘れた場合は至急10号館3階の情報センターカウンターでパスワード再発行の申請を行ってください。また、パスワードは機器のブラウザ等に記憶させるのではなく、自分でしっかりと覚えるようにしてください。

在学留学した場合の研究演習履修パターン

留学期間	2年次		3年次		4年次	
	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ
1学期間	①	【留学】	I	II	III	IV
	②		I	II	III	IV
	③		【留学】	II	III	IV
	④		I	【留学】	III	IV
	⑤		I	II	【留学】	IV
	⑥		I	II	III	【留学】
	⑦		I	II		【留学】
1年間	⑧	【留学】	I	II	III	IV
	⑨		【留学】	II	III	IV
	⑩		【留学】	【留学】	I	II
	⑪		I	【留学】	【留学】	II
	⑫		I	II	【留学】	【留学】



演習募集時期(秋学期11月ごろ)

1.

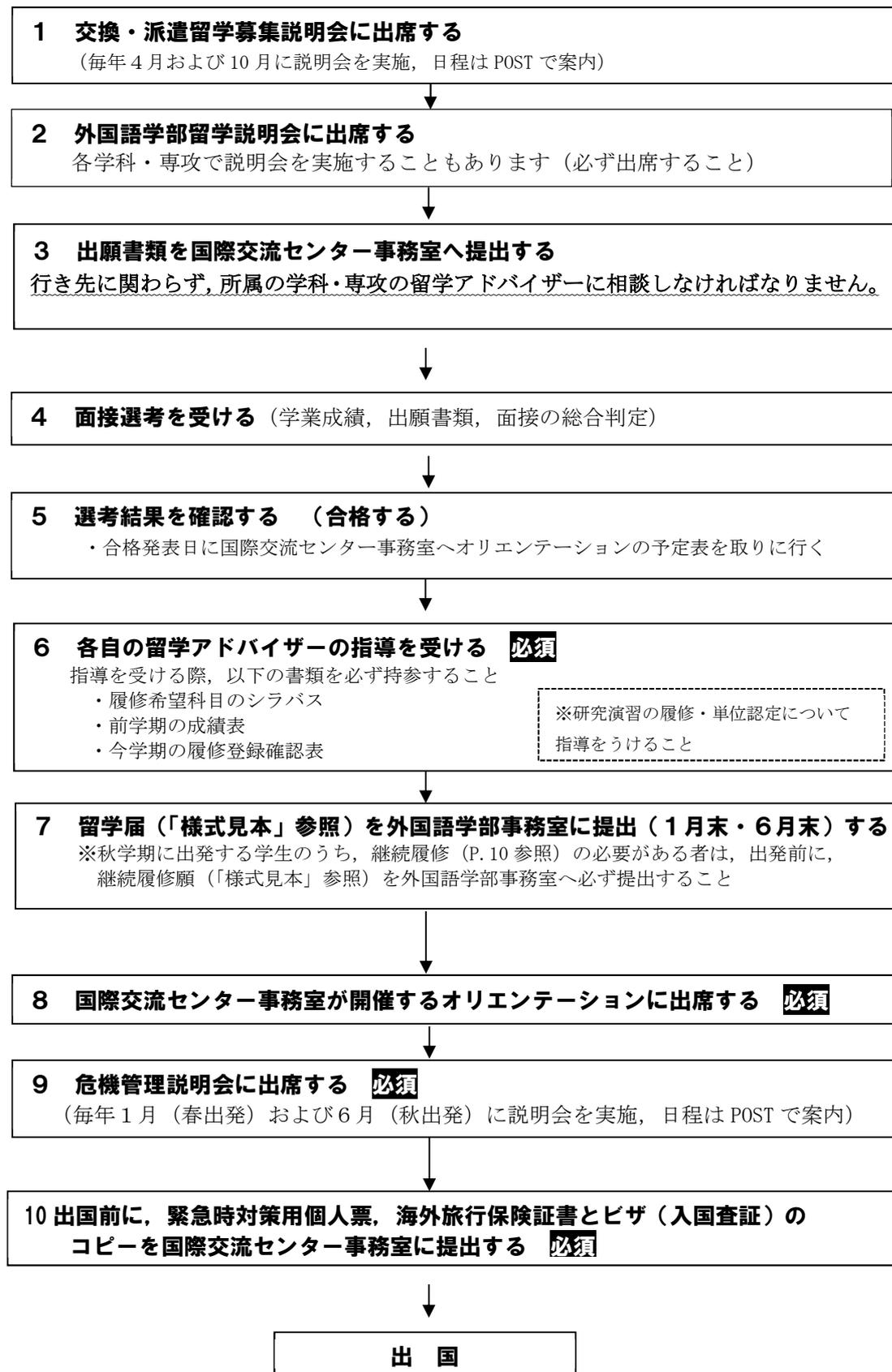
2.

- 2年次4セメスター生は、秋学期11月頃に、全員Ⅰ、Ⅱを応募します。(翌年度の春学期(5セメスター)に、休学することが決定している者除く)。
- 3年次で1年間留学し、4年次でⅠ、Ⅱを履修しなければならない場合、3年次秋学期11月頃に、留学先からWebでⅠ、Ⅱを応募します。

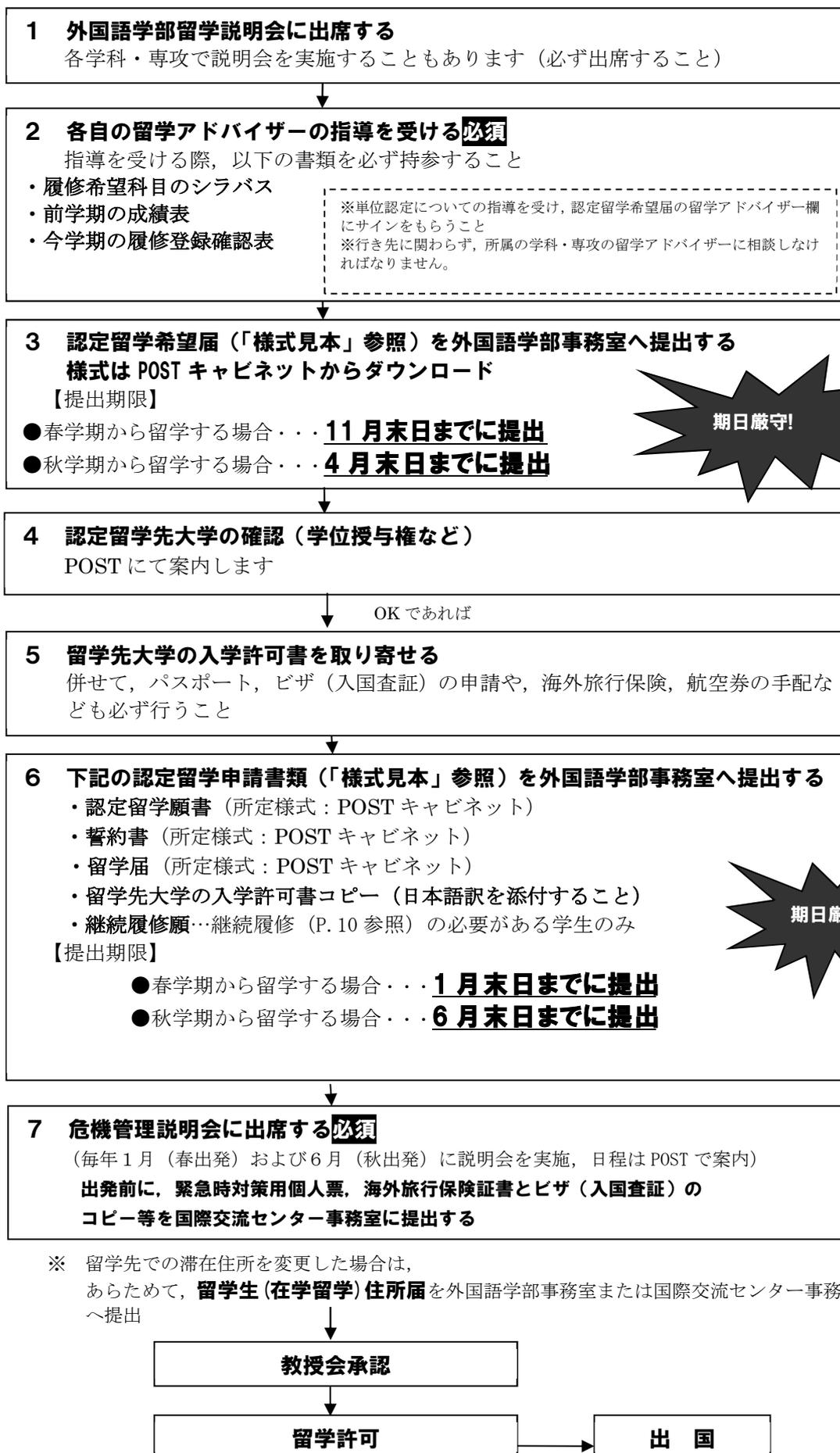
6. 申請手続（出国までの流れ）

交換・派遣留学

【出国までの流れ】



認定留学【出国までの流れ】



7. 外国留学支援金

在学留学する際の経済的支援として、以下の外国留学支援金を支給します。なお、支給方法は、学期毎の本学授業料から外国留学支援金額を差し引くことにより行います。(事前手続きなどはありません)。

●外国留学支援金

① 交換・派遣留学生

【学部】 文系 55 万円 (年額) 【大学院】 文系 35 万円 (年額)

② 認定留学生

【学部】 文系 45 万円 (年額) 【大学院】 文系 25 万円 (年額)

※注 1：上記金額は、1 年間留学した場合の金額です。1 学期間の場合は半額となります。

※注 2：上記は、直近の実績額です。諸事情により、支給方法・支給金額が変更になる場合があります。

※注 3：他の授業料減免制度、奨学金制度等の適用を受けている場合は、授業料相当額を限度として併給調整して支給します。

※注 4：在学留学を取り消された場合には、既に支給した外国留学支援金を返還していただくこととなります。

※注 5：ビザ（入国査証）が取得できない場合や他にも留学許可が取り消しとなることがあります。留学許可が取り消された場合は、外国留学支援金を返還しなければなりません。

●納付書送付時期

春学期分：4 月 1 日以降

秋学期分：10 月 1 日以降

8. 継続履修制度

「継続履修」とは、秋学期から翌年度の春学期まで、1年間留学する場合で、留学前の春学期に本学で履修していた学期連結科目および通年科目を、帰国後の秋学期に、継続して履修できることをいいます。

継続履修を希望する場合は、次の要件をすべて満たしていなければなりません。

- 春学期履修後に在学留学し、次年度春学期終了時まで留学期間が連続すること。
- 通年(学期連結)で実施される科目であり、同一授業科目であること。
- 留学前に、外国語学部事務室に「継続履修願」を提出し、承認を得ておくこと。
- 帰国後、指定の期日までに外国語学部事務室に「継続履修科目登録願」を提出すること。

留学前に継続履修が認められた科目であっても、不開講、開講曜日時間、カリキュラムの変更等により、継続履修できない場合があります。

なお、1学期間（春学期のみ、もしくは秋学期のみ）在学留学する場合、休学で留学する場合は、継続履修をすることはできません。

～履修要項から抜粋～

開講形式

各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。

学期完結	春学期もしくは秋学期の半年間で授業が完結される。 成績評価および単位認定は各学期ごとに行われる。
学期連結	春学期・秋学期を継続して授業が行われる。 成績評価は春学期は暫定点（中間点）として評価され、秋学期終了時に春学期・秋学期の成績を総合評価して単位認定が行われる。 春学期のみ、もしくは秋学期のみ休学や在学留学する場合は、成績評価および単位認定はされない。
通年	春学期・秋学期を継続して授業が行われる。 基本的に、春学期終了時での成績評価は行われず、春学期・秋学期の成績を総合評価して単位認定される。ただし、暫定点（中間点）が好評される場合もある。 春学期のみ、もしくは秋学期のみ休学や在学留学する場合は、成績評価および単位認定はされない。

9. 単位認定の基準

認定単位数の上限

留学先の大学で修得した単位等のうち、本学で開講されている科目と類似性があると認められたものは、1年間留学した場合は48単位、1学期間留学した場合は24単位を上限として本学の卒業に必要な単位数に認定することができます。ただし、1年間留学すれば48単位（1学期間24単位）が自動的に認定されるのではなく、あくまでも認定される最大限の単位であって、留学先での学習内容・授業時間等によって認定される単位の種類や単位数は異なります。

なお、この48単位（1学期間24単位）には短期語学実習を含みますので注意してください。

授業時間数・単位の換算

単位認定にあたっては、A)総授業時間数、B)ECTS（欧州単位互換制度）のいずれかの方法で行うものとし、留学アドバイザーが審査し、教授会で承認します。一度の留学の中で、換算方法の併用は認めません。

A)【単位換算の目安】

科目の種類	留学先での授業時間	認定される単位数
講義科目、演習	22.5時間（1,350分）	2単位
実習科目 （語学プログラムも該当）	22.5時間（1,350分）	1単位

B)【欧州単位互換制度（ECTS）をもとに換算する場合】

科目の種類	留学先での成績	認定される単位数
問わない （講義・実習科目等）	1.67ECTS	1単位

留学先が発行した成績証明書に記載された合格科目のECTSを合計し、総単位数を1.67ECTS=1単位（本学での認定単位）として換算します。少数点以下は切り捨てます。

認定科目・成績評価

留学先で取得した単位は、本学開講科目に読み替えて認定し、成績の評価は「N」で表示されます。単位取得できなかった科目、つまり不合格の科目は単位認定の対象外とします。

本学開講科目に読み替える場合は、本学開講科目の内容に類似性をもつことを原則とします。

ただし、専門教育科目の領域と判断される科目で、本学開講科目として読み替えが不可能な場合は「外国留学特殊科目」という科目名で認定する場合があります。

専門教育科目に該当しないと判断された科目については、共通教育科目として認定し、科目名は「外国留学科目」とします。

※留学先大学での学習内容により、また認定する科目により、留学中にレポートを課す場合や、帰国後、試験（筆記・試問）をする場合があります。

単位認定については、留学申請前に留学アドバイザーに十分指導を受けてください。

単位認定申請書類

留学先から帰国後、早急に次の書類を提出しなければなりません。特に留学先大学で発行される書類については、現地滞在中に十分確認し、不備のないよう準備してください。

- ① 留学科目単位認定申請書
- ② 履修報告書
- ③ 授業時間割報告書
- ④ 留学先大学での成績証明書、修了証のコピー
- ⑤ 履修科目の時間数を証明するもの（またはそれにかわるもの）
- ⑥ 受講した科目の内容を説明した授業細目（シラバス）

10. 単位認定申請手続（単位認定までの流れ）

【単位認定までの流れ】

1 外国語学部事務室へ帰学届（POST からダウンロード）を提出する

2 単位認定申請書類を留学アドバイザーへ提出する

- ・ 留学科目単位認定申請書・・・POST からダウンロード
- ・ 履修報告書・・・POST からダウンロード
- ・ 授業時間割報告書・・・POST からダウンロード
- ・ 留学先大学での成績証明書，修了証コピー
- ・ 履修科目の時間数を証明するもの（またはそれにかわるもの）
- ・ 受講した科目の内容を説明した授業細目（シラバス）
- ・ 学科・専攻の留学アドバイザーから指示された提出物（あれば）
- ・ 継続履修科目登録願（継続履修の必要がある学生のみ）

※当該授業科目の内容を示す文書（シラバス）として下記項目等が掲載されていることが望ましい。

- ・ 授業科目名(course title)
- ・ 受講学生数(class size)
- ・ 宿題(homework)
- ・ 講義内容(subject)
- ・ 使用教材(textbooks used)
- ・ 時間割(class schedule)
- ・ 参考資料(reading assignments)

【提出期限】

（期限までに提出がない場合，上記申請書類に不備がある場合は単位認定ができません。提出準備が整った段階で，なるべく早く提出して下さい）

- ・ 春学期から1学期間留学……………7月末日までに提出
- ・ 春学期から1年間留学……………翌年1月末日までに提出
- ・ 秋学期から1学期間留学……………翌年1月末日までに提出
- ・ 秋学期から1年間留学……………翌年7月末日までに提出

※特例措置について

留学先大学のコースの終了日等の関係により，期日までに書類の提出が困難な場合，特例として提出期日の延長を（妥当と判断された期間）認める場合があります。ただし，事前に専攻又は留学アドバイザーが許可した場合に限ります。詳細は留学アドバイザーに確認してください。（なお，提出期日を延長した場合，留学単位認定の成績発表は通常の発表（9月，3月）より1か月程度遅くなり，次学期の履修に影響しますので注意してください。ただし，8セメスターのみの留学の場合は特例の対象外となります。）

4 単位認定審査（筆記試験・口頭試問等）実施

以下の日までに，単位認定審査（筆記試験・口頭試問等）を行う。

- ・ 春学期から1学期間留学……………8月上旬までに実施
- ・ 春学期から1年間留学……………翌年2月上旬までに実施
- ・ 秋学期から1学期間留学……………翌年2月上旬までに実施
- ・ 秋学期から1年間留学……………翌年8月上旬までに実施

学科・専攻会議（単位認定案を作成）

教授会承認（単位認定）

11. 在学留学Q & A

Q：交換留学と派遣留学はどこが違いますか？

A：交換留学では協定内容により、双方の留学生の授業料を免除することになっており、基本的に相手校の「学部」で学ぶこととなります。派遣留学では授業料の免除制度がなく、語学修得を中心としたプログラムで学ぶこととなります。但し留学先大学が求める語学力によっては、交換留学生であっても「学部」の授業を履修できない場合もあります。反対に派遣留学生であっても、学習の成果によっては「学部」の授業を履修できることがあります。

Q：どの程度の語学能力が必要ですか？

A：「交換留学」や「派遣留学」の場合は一定のレベルの語学能力が必要です（英語圏なら、交換留学：TOEFL iBT55点、IELTS 5.0以上。派遣留学：TOEFL iBT45、IELTS4.0以上。「認定留学」の場合、特に基準は設けていませんが、留学を考える学生は各言語の検定試験等を受けて留学に備えましょう。

Q：在学留学は1年次からできますか？

A：1年次からの在学留学は認めていません。在学留学が行えるのは2年次以降です（応募は1年次から可）。まずは大学生活に適応し、卒業するために必要な単位取得を確実にしてから取り組んでください。

Q：費用はどの程度ですか？

A：地域や大学、住環境等によって大きく異なります。例えば、アメリカで1年間留学する場合、一般的には200～400万円程度の総費用が必要とされています。実際に留学した学生の報告書が国際交流センターにあるので参考にしてください。

Q：在学留学に際し、経済的な支援等がありますか？

A：本学では「外国留学支援金」支給制度により、留学費用の負担軽減を図っています。この他にも学内外の奨学金制度があります。詳しくはHP等で確認してください。

Q：単位はどのぐらい得られますか？

A：本学の単位として認定される数は、留学先での学習状況（学習内容や授業時間等）によって、一人一人異なります。認定の基準については、P.11の「9.単位認定の基準」を参照してください。

出発前には、その時点での単位修得状況（卒業に必要な単位について留学アドバイザーとともに確認し、単位認定対象となる本学の科目を把握しておいてください。卒業に必要な単位の中には、在学留学による単位認定の対象外となる科目があります。その科目は、必ず本学で履修・修得しなければなりません。あらかじめ留学アドバイザーに確認しておいてください。

Q：専攻した言語が使われていない国・地域に留学することは可能ですか？

A：可能です。ただし、帰国後の単位認定において専攻語圏への留学と異なる点があります。また、留学先や留学の種類によって、留学先大学の入学条件や本学での選考の際に一定レベル以上の言語能力が求められます。

Q：1年以上の留学はできないのですか？

A：在学留学として認められるのは1年以内です。それ以上の期間は「休学しての留学」となります。なお、1年間の在学留学を経てさらに休学して留学を続行する場合は、一旦帰国して手続きを行わなければ、それまでの単位が認定されないので注意が必要です。

Q：留学に関しては誰に相談すればいいですか？

A：交換・派遣・認定いずれの場合も、まずは自分が所属する学科・専攻の留学アドバイザーに相談してください。その他、交換・派遣留学は国際交流センター事務室、認定留学は外国語学部事務室でも相談を受け付けています。

留学を経験した先輩の話聞く機会も有効に活用しましょう。

12. その他

- 単位認定を1科目も申請しない在学留学は認められません。
- 留学先での住所が決定次第、留学生(在学留学)住所届を外国語学部事務室または国際交流センター事務室まで提出してください。住所が変更になった場合も必ずご連絡ください。
- 1年間留学する場合は、中間報告書（様式はPOSTに掲載）を国際交流センター事務室まで提出してください。
- 海外留学時には、日本国外務省よりの危険情報を常に確認するとともに、自らも現地の危険情報および社会情勢等にも充分注意をはらうようにしてください。
- 外国では、日本で加入している公的医療保険（国民健康保険等）は使用できません。また、一般的に海外在留中にはその国の社会保険制度も適用されず、日本のような公的な社会保障制度がない国もあります。万一、ケガや病気になったら、日本では想像もつかないくらい高額な治療費になる場合があります。出国から帰国までをカバーする海外旅行保険に加入してください。
- 留学を希望される方は、卒業までの履修計画や将来の進路も熟慮のうえ、早期から十分な計画を立てることが望まれます。また、海外に留学するので、それぞれの国によってさまざまな法律、規則や慣習があり、日本では当たり前のことが当たり前でないことが多々あるということを十分認識しておく必要があります。留学してから戸惑うことのないよう、希望する留学先国の歴史、文化、慣習、社会等を留学前に理解するとともに、留学後に適切に行動することが肝要です。

認定留学希望届

Form for '認定留学希望届' with fields for personal information, academic details, and health status.

認定留学願書

令和 年度認定留学として、先方の入学許可書を取得しましたので、下記の大学へ留学したく、保護者同意のもと申請いたします。

Form for '認定留学願書' with fields for university name, department, and course.

Main application form with fields for photo, name, address, and health status.

※記入されている個人情報は認定留学に関する処理のためにのみ使用し、その他の目的には使用しません。

留学アドバイザー署名欄

※ 留学内容は裏面に記載のこと。

留学内容（在籍コース日程、大学紹介、履修科目等、留学の概要）を具体的に記入してください。

Blank lines for entering study content and course schedule.

誓約書

私は、京都産業大学「在学留学制度」に出願及び参加するにあたり、下記事項を同意のうえ、誓約します。なお、誓約事項に反した場合は、京都産業大学「在学留学制度」における留学生の資格を取り消され留学支援金他奨学金の返還を求められても異議は申立てしません。

<誓約事項>

- List of 15 terms and conditions for the study abroad agreement.

年 月 日

学部・学科/研究科: _____ 学生証番号: _____

学年: _____ 年次 _____ 本人氏名(自署): _____ 印

上記学生が留学するにあたり、本人の意思を確認したうえで、保証人として留学を承諾し、学生本人が誓約事項を遵守することを保証します。

年 月 日 保証人氏名(自署): _____ 印

(本人との続柄: _____)

留 学 届 (交換・派遣・認定) ※いずれかに○

令和 年 月 日

外国語学部長 殿

令和 年 月 日

継 続 履 修 願

京 都 産 業 大 学 長 殿

_____学部 _____ 学科
 学生証番号 _____
 (フリガナ)
 氏 名 _____ 印

外国語学部	学科	専攻
学生証番号	氏名	

このたび下記のとおり留学することとなりましたので、届け出します。

私は、令和 年 学期より半年間・1年間
 _____大学 (国名) へ

記

在学留学するため、下記の科目について、継続履修を希望します。

留学期間: 半 年 (令和 _____年度 _____学期)
 1 年 (令和 _____年度 _____学期 ~ 令和 _____年度 _____学期)
 ※いずれかに○

継続履修が認められた科目であっても、開講科目、開講時間割、講義内容等のカリキュラム変更で、継続履修出来ない場合があることを了承いたします。

留 学 先: 国 名 _____
 学校名 _____

記

以 上

科 目 名	担 当 者	単 位	授 業 コ ー ド		
			曜 日	時 限	科 目 コー ド

受 付

単位認定書類と併せて、継続履修科目登録願を提出してください。

※休学留学生は危機管理上必ず提出のこと

留学者住所届 (新規・変更) ※どちらかに○

学部 (専攻)	学科 (専攻)	学生証番号	フリガナ氏名
日本での緊急連絡先		フリガナ氏名	本人との関係 ()
Tel		e-mail	
渡航期間	出発日	年 月 日	帰国日
		年 月 日	年 月 日

留学先大学 (日本語対応の漢字又は英語で記入してください)

国 名	留学種別	交換・派遣・認定・休学 ※いずれかに○
大学名		
コソの実験機関名		
住 所		
Tel/Fax		

滞在先の住所 (日本語対応の漢字又は英語で記入してください)

住 所	
Tel	携帯 Tel (国番号 ())
e-mail (P C)	携帯 e-mail (国番号 ())

※留学先に到着後すぐに、所属学部又は所属研究科の事務室に送付、FAX、または e-mail で同じ内容の連絡をくださっても結構です。
 新しく携帯電話を購入した場合や、住所変更などがあればその都度必ず報告してください。

< 裏面を確認のうえ、所属の事務室へ提出してください。 >

*記入されている個人情報、住所等及び留学期間に関する事項のためにのみ使用し、その他の目的には使用しません。

単位認定申請書類作成マニュアル

◆ 目次 ◆

1. 留学の単位認定申請資料作成手順と注意点 19

申請書類記入例

- ・留学科目単位認定申請書（書類ア）
- ・履修報告書（書類イ）
- ・授業時間割報告書（書類ウ）
- ・帰学届（書類エ）

留学先大学で発行される書類（単位認定の根拠資料）サンプル

- ・成績表（書類A）
- ・シラバス（書類B）

2. 在学留学帰国後提出書類Q&A 26

2023.04 改定

1. 留学の単位認定申請資料作成手順と注意点

手順1：書類を準備

手続・書類等		注意点
留学先大学 で取り寄せ るもの	成績証明書(写し) 修了証(写し) 書類 (A)	・ 大学発行の署名や印がある証明書 (の写し) であること ※メール文による通知は証明書として認められません。
	受講した科目の内容 を説明した授業 細目 (シラバス) 書類 (B)	・ 成績証明書と科目名が一致していること。 ・ HP などのプリントアウトでも可 ・ シラバスがない場合は、留学先大学の担当教員に事情を説明し、必ず作成してもらうこと。 シラバスがない科目については単位認定申請ができません。
	クラススケジュール (履修科目の時間 数を証明するもの) 書類 (C)	・ 各科目の時間数 (1 科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および一時限当たりの時間) を示す書類。 ・ シラバスや成績証明等に記載されている場合は不要。
各自で作成 するもの	留学科目単位認定 申請書 書類 (ア) 履修報告書 書類 (イ) 授業時間割報告書 書類 (ウ) 帰学届 書類 (エ)	POST からダウンロード 【認定留学生】 POST キャビネット 05 留学関係 ▶ 2) 認定留学 ▶ 外国語学部 ▶ 単位認定関係書類 【交換・派遣留学生】 POST キャビネット 05 留学関係 ▶ 1) 交換・派遣留学 ▶ 単位認定に関すること ▶ 外国語学部 【在学留学の手引き】 POST キャビネット 05 留学関係 ▶ ★留学の手引き

手順2：書類を作成する

<留学科目単位認定申請書 (ア)> 準備する書類 (A)：成績証明書・修了書

単位認定を行うための基盤となる書類です。ここに記されていない科目は、たとえ修得できていたとしても、単位認定を希望しないものとして扱われます。

- ✓ まず、「科目名」、「時間数」の欄に、留学先大学の成績証明書 (書類(A)) に記載されている科目名 (正式名称)・時間等をそのまま記入してください。
- ✓ 科目毎に番号を振ってください。さらに、その番号を「履修報告書(イ)」、「授業時間割(ウ)」、「成績証明書 (A)」、「シラバス (B)」にも付してください。
- ✓ 時間数、授業回数など、授業時間数の確認のために重要だと考えられる箇所に、マーカーで色をつけてください。

<履修報告書(イ)> 準備する書類(B): シラバス

申請された科目の中身を勘案し、本学カリキュラムのどの区分に読み替えるかを判断するために使用する資料です。

- ✓ 留学先大学のシラバス(書類B)などを参照しながら、授業概要や授業で学んだ内容等を具体的に記入してください。なお、語学の授業については、そのレベルを記入してください。
- ✓ 時間計算は、原則「1回の授業時間(分)」×「1週あたりの授業回数(回)」×「何週授業が行われたか(週)」を記入してください。

(例①:[90]分 × [2]回 × [15]週 = [2700]分)

なお、どうしても所定の書式で表せない場合は、例②、例③のような書き方でも結構です。

(例②:[90]分 × [28]回 × [-]週 = [2520]分)

(例③:[2480]分 × [-]回 × [-]週 = [2480]分)

- ✓ 時間数には、祝日や休暇など、予め休講することが決まっている時間数は含めません。出席必須のTutorialの時間などを含めます。(時間数等が記載された証明書類が必要)
- ✓ <単位認定申請書>と同じ番号を付してください。

<授業時間割(ウ)> 準備する書類(C): クラススケジュール

現地での履修スケジュールを報告し、申請された科目の授業時間数などを計算、確認するための資料です。

- ✓ それぞれのセメスターにおける時間割を正確に分単位で記入してください。
- ✓ 所定の書式で時間割が表せない場合は、「特記事項」として、どのようなスケジュールで授業が行われたのか、詳しく記入してください。あるいは、任意の様式を添付してください。
- ✓ <留学科目単位認定申請書>と同じ番号を付してください。

手順3: 書類を提出する

<資料提出>

- ✓ 時間などを正確に計算し、完成した状態で、留学アドバイザーへ提出します。
各授業の時間数や内容について、シラバス等の証明となる資料に基づき、説明できるようにしてください。

<単位認定結果>

- ✓ 教授会で審議後、単位認定結果をWEB学業成績表で通知します。

その他

- 認定単位数の上限があります。留学先の大学で修得した単位のうち、適当と認められたものは、1年間留学した場合、48単位、1学期間留学した場合、24単位を上限として本学の卒業に必要な単位数に認定することができます。

【書類提出期日】

- ・春学期から1学期間留学……………7月末日までに提出
- ・春学期から1年間留学……………翌年1月末日までに提出
- ・秋学期から1学期間留学……………翌年1月末日までに提出
- ・秋学期から1年間留学……………翌年7月末日までに提出



KONKUK UNIVERSITY
120 NEUNGdong-RO GWANGJIN-GU,
SEOUL, 143-701, KOREA

OFFICIAL TRANSCRIPT

FULL NAME	[REDACTED]	COLLEGE	: LIBERAL ARTS
STUDENT NUMBER	[REDACTED]	DEPT./DIV./MAJOR	: ENGLISH LANGUAGE & LITERATURE
GENDER	[REDACTED]	MAJOR1	: ENGLISH LANGUAGE & LITERATURE
DATE OF BIRTH	[REDACTED]		
DATE OF ADMISSION	[REDACTED]		
DATE OF GRADUATION	:		
DEGREE RECEIVED	:		
EARLY GRADUATION			

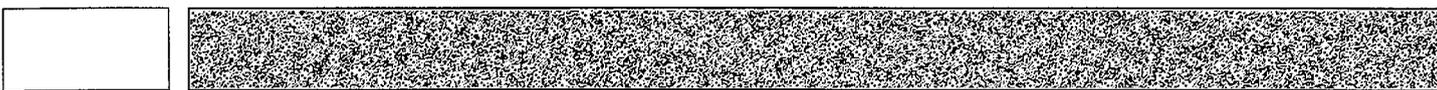
TITLE OF COURSE	CR	GR	TITLE OF COURSE	CR	GR
1st SEMESTER (2022)					
① ACADEMIC ENGLISH 1(E)	3	B+			
② KOREAN INTERMEDIATE	2	A+			
③ UNDERSTANDING KOREAN CULTURE(E)	2	C+			
④ ENGLISH AND AMERICAN CULTURE(E)	3	B			
PSSD : 10	GPA : 3.35				
CREDITS EARNED	: 10				
FULL MARKS	: 4.50				
CUMULATIVE GPA	: 3.35				
PERCENTAGE EQUIVALENT	: 87.5				

Grading System A+ :4.5(100-95) A:4.0(94-90) B+ :3.5(89-85)
B:3.0(84-80) C+ :2.5(79-75) C:2.0(74-70) D+ :1.5(69-65)
D:1.0(64-60) F:Failed(No Grade Point) P:Pass
* CR : CREDIT GR : GRADE
Lectures in a Foreign Language E=English, F=French,
G=German, C=Chinese, H=Hebrew, J=Japanese
* I=Lecture or International Students, W=withdraw
* Required Credits for Bachelor's Degree : 124 ~ 185
** Due to possible change of major during enrollment periods, official transcript issued only after the date of graduation can confirm declared major.

Soo Hyung Park
Soo Hyung Park
VICE PRESIDENT FOR ACADEMIC AFFAIRS
KONKUK UNIVERSITY



*This transcript was issued by e-issuing system. Verification of authenticity is available within 180 days after the date of issue(in www.webminwon.com).



3

2022학년도 1학기 강의계획서

2022학년도 1학기							
학 년 도	2022	학 기	1학기	과 목 번 호	1647	이 수 구 분	심교
교 과 목 명	UNDERSTANDINGKOREANCULTURE			학 점	2	교 강 사 명	맥키
과 목 개 설 학 과	상허교양대학			수강대상 학 과	전체대학	수 강 대 상 학 년	9
선 이 수 과 목						팀티칭 여부	해당 없음
강의진행 정 보	강 의 시 간	2	강 의 실	월09-12(산학220)			
	수 업 유 형		강 의 언 어	영어			
	강 의 종 류	B-러닝(실시간+녹화+대면)	강 의 유 형	이론			
교강사 연락처	교 내 전 화			OFFICE HOUR	2022-03-02 ~ 2022-06-21 월 16:30 ~ 17:30,		
	교강사 연락처	010-2775-6099			2022-03-02 ~ 2022-06-21 수 15:00 ~ 16:00		
	교강사 E-Mail	emorymckee@yahoo.com					

※ 학내 시스템을 통해 획득한 교강사에 대한 개인정보는 외부에 유출, 유포할 수 없습니다.

WE人 핵심역량				
핵심역량	종합적사고력, 글로벌시민의식, 소통역량,			
교과목특성 및 수업특성				
핵심역량 강의목표	<p>상대방과 효과적으로 소통하고 팀원 간의 상호 협조와 협력을 이끌어낼 수 있다</p> <p>다양한 정보와 지식을 이해하고 문제를 규명하며 분석 추론하여 이를 바탕으로 문제 해결에 적용할 수 있다</p> <p>외국어에 대한 자신감, 문화적 다양성 수용, 전지구적 도전과제에 대한 이해를 토대로 글로벌 공동체의식을 함양할 수 있다</p>			
전공역량	구분	전공역량	전공역량 정의	교과목과의 연관성
	주 전공역량			
	보조 전공역량1			
	보조 전공역량2			
역량기반 교육목표	Attendance, Participation, Quizzes			
	Exams			
	Presentations			

주차	주별학습목표	강의내용	수업 방법	학습 활동	담당교강사	강의실
1	Korean Culture	Introductions / Syllabus	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(실시간)



2	Korean Culture	Korean Identity	Offline	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(산학220)
3	Korean Culture	Tradition: Religion, Folk Culture, and Education	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
4	Korean Culture	A Brief History: From Gocheoson to the First Republic	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
5	Korean Culture	Politics: Why There Are so Many Parties, but No One Is Celebrating	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
6	Korean Culture	Modern Korea: Pretty Girls, Pretty Boys, and Cafes	Offline	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(산학220)
7	Korean Culture	Midterm Exam	Exam	Exam	Professor McKee	월09-12(실시간)
8	Korean Culture	Presentation Topic	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
9	Korean Culture	Internet Culture: A Modern IT Powerhouse and the Rise of Pro Gamers	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
10	Korean Culture	Society: Food, Crime, Social Pressures, and Kimchi as a Lifestyle	Offline	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(산학220)
11	Korean Culture	Work: Cheabols, The IMF Crisis, and Mandatory Drinking Parties	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
12	Korean Culture	Relaxation: Soju, Sports, and Song Rooms	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
13	Korean Culture	Music: K-pop, New Genre Fusions, and the Love of Music/Audition Shows	Offline	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(산학220)
14	Korean Culture	Movies and TV: Dramas, Comedies and the Korean Wave	Online	Lecture / Discussion	Professor McKee	월09-12(녹화강의)
15	Korean Culture	Final Exam	Exam	Exam	Professor McKee	월09-12(실시간)
16	Korean Culture	Watch Presentations	Presentations	Presentations	Professor McKee	월09-12(실시간)



授業期間・科目名は他の書類(授業時間割報告書・単位認定申請書)と同一になっているか確認してください

書類(ア) 記入例

留学科目単位認定申請書

以下のとおり、単位に認定を申請します。

英語	学科	イングリッシュ・キャリア専攻	学生証No.	123456	氏名	産大 太郎	
留学先			国名		授業期間		
建国		大学	韓国		2022	年	4 月 ~ 2022 年 12 月
教職課程履修の有無 (有の場合右欄選択)				留学アドバイザー		●●●●	

<input type="checkbox"/> 時間数とECTSの両方を記入する	<input checked="" type="checkbox"/> 時間数のみ記入する	<input type="checkbox"/> ECTSのみ記入する
-------------------------------------------	-----------------------------------------------	-------------------------------------

No.	申請科目 ※学生記入欄 科目	教授言語	時間数		ECTS
			分単位	時間単位	
①	Academic English 1	英語		48	
②	Korean Intermediate	韓国語		32	
③	Understanding Korean Culture	英語		32	
④	English and American Culture			48	
⑤	Academic English 2			32	
⑥	English Writing	英語		48	
⑦	Understanding Japanese Culture	韓国語		32	
⑧	Understanding the Role of Volu	韓国語		32	
⑨					
⑩					
⑪					
小計			0	304	0
申請時間数 (h) 総計			304		
ECTS 総計			0		

<注1>黄色網掛け部分のみ入力してください。(それ以外は修正不可)

<注2>必ず2ページとも提出してください。2ページ目の学科・専攻・学生証番号・氏名を記入してください。

<注3>留学先での学修内容・評価を証明するため、添付書類として下記の書類が必要です。
不足書類がないか、確認のうえ提出してください。

- ①留学先の大学の成績証明書またはそれにかわるもの。
- ②履修科目の時間数及び単位数を証明する文書またはそれにかわるもの。
- ③受講した科目の内容を説明した授業細目(シラバス)。

※申請した内容すべてが認定されるとは限りません。

期間・科目名などは他の書類（授業時間
報告書・単位申請書）と整合性がある
かチェックすること

授業時間割 報告書

セメスターがある場合は
セメスター名を記入

留學先大学名 ○○○○○○○○○○

授業期間 Semester : Spring

期間 : 令和○○年○○月○○日 ~ 令和○○年○○月○○日

氏名 ○○

○○月○○日～○○

○○○ 学科 ○○○ 専攻 ○ 年次 学

書類(ウ) 記入例

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9 : 00 ↓			④ English and American Culture 9 : 00 ~ 10 : 00		Understanding Asian Culture 00 ~ 11 : 00	
10 : 00 ↓					Understanding Culture 00	
11 : 00	授業開始日 (1日目) ~ 終了日を記入					
11 : 00 ↓						
12 : 00	授業期間内に休暇があった場合その期間を記入					
12 : 00 ↓						
13 : 00	休憩時間がある場合は()の中に時間を記入					
13 : 00 ↓						
14 : 00	期間中に実施される不定期科目については、 <実施した授業の時間数(分)×回数>を記入して下さい					
14 : 00 ↓						
15 : 00	② Korean Intermediate 13 : 00 ~ 15 : 00	① Academic English 1 13 : 30 ~ 15 : 00		① Academic English 1 13 : 30 ~ 15 : 00		
15 : 00 ↓						
16 : 00	※ 時間割表は、セメスターごと (期間ごと) に作成してください。					
16 : 00 ↓						
17 : 00	※ 科目名は、履修報告書と同じ科目名を記載してください。					
17 : 00 ↓						
【特記事項】	※ 各科目には、留学科目単位認定申請書に記載した番号 (① ~) と同じ番号を記入してください。					

(注) 授業期間 (セメスター) ごとに作成してください。科目名として記入できない場合はその授業の内容を記入し番号をつけてください。(例えば、会話・文法等) 申請書にも同様の説明が必要です。

書類(工)
記入例

帰学届 (交換・派遣・認定) ※いずれか

令和 年 月 日

京都産業大学長 殿

_____ 学部 _____ 学科

単位認定書類と同時に提出
すること。

学生証番号 _____

(フリガナ)

氏 名 _____ 印

このたび下記のとおり帰学いたしましたので、届け出します。

記

留学期間： 半 年 (令和 _____ 年度 _____ 学期)

1 年 (令和 _____ 年度 _____ 学期 ~ 令和 _____ 年度 _____ 学期)

※いずれかに

留 学 先： 国 名 _____

学校名 _____

正式名称で記載

以 上

受 付

2. 在学留学 単位認定申請 Q&A

Q 1 : どんな書類を提出しないといけないかがわかりません。

A 1 : 単位認定に必要な書類を提出しなければなりません。提出書類は、本冊子の1ページおよび在学留学の手引き(10. 帰国後の手続(帰国～単位認定までの流れ))で確認してください。本人が作成する書類と、留学先大学で取り寄せる書類があります。
特に、留学先大学で取り寄せる書類については、いったん帰国すると入手が困難になります。
現地で確実に申請し、内容を確認したうえで、必ず帰国時に、持ち帰ってください。

Q 2 : 留学先大学からシラバスが提供されませんでした。

A 2 : 自分で留学先大学のホームページを確認し、コースやプログラム内容が詳細に案内されているページを印刷のうえ提出してください。万が一、ホームページなどでも入手できない場合は、留学先大学の担当教員やコーディネーターにシラバスを作成してもらうよう依頼してください。

書類が不足している、あるいは内容に不備があると単位認定ができないことがありますので十分注意してください。

帰国後は留学先大学への連絡が難しくなるため、現地滞在中に不足や不備がないか、必ず確認してください。

Q 3 : 成績証明書の発行が書類提出期日に間に合いません。

A 3 : まずは、本人が提出期日に合うように自分で留学先大学に申し入れするなど最善をつくしてください。例えば、「先にPDFで送ってもらいその後原本を郵送してもらう」といったような交渉を滞在中にしなければならぬこともあります。

メール文では成績の証明にはなりません。ただし証明書原本のPDFであれば可です。

成績証明書の送付先、発送予定日等詳細に確認することも忘れずに。

それでも期限に間に合わないと回答があった場合は、留学アドバイザーに相談してください。

Q 4 : 受講した授業の実際の時間数とシラバスや成績証明書に書いてある時間数が異なります。

留学科目単位認定申請書や履修報告書にはどのように記載すればよいでしょうか。

A 4 : 留学アドバイザーに状況を説明し、記入方法について指示を仰いでください。

Q 5 : 1年間の留学で2セメスター分受講しました。時間割表報告書は1年間分をまとめて記入してもよいですか。

A 5 : いけません。時間割表報告書はセメスター毎に作成してください。

Q 6 : 留学先大学の夏・冬期に行われるサマースクールやウィンタープログラムに参加する予定です。各書類にはどのように記載すればよいでしょうか。

A 6 : 当初からあなたの留学計画に組み込まれているプログラム(留学先大学と同一大学)であれば、サマープログラムなども単位認定申請の対象になりますので、通常のコースや科目同様に記載してください。

なお、留学先大学として許可された大学で実施されるプログラムではない場合、単位認定の対象にはなりませんので、書類に記入することはできません。

Q 7 : 体育や音楽などの実技の科目を履修しました。書類に記入してもよいでしょうか。これらの科目は単位認定の対象でしょうか。

A 7 : 専門教育科目には相応の領域が存在しないため、専門教育科目の単位としては認定されませんが、在学留学の手引き（9. 単位認定の基準）にもあるとおり、共通教育科目として認定される場合があります。

ただし、授業内容や授業時間数によっては単位認定対象外となることもありますので、履修科目を決定する前に、留学アドバイザーに相談される事をおすすめします。

Q 8 : 留学中にレベルアップし、上級クラスになりました。授業は欠席することなくがんばりましたが不合格となってしまいました。この場合、単位認定申請はできないのですか？

Q 8 : できません。合格となった科目、コースのみが単位認定の対象となります。

Q 9 : 履修報告書に何を書いてよいかわかりません。

A 9 : 留学アドバイザーは、シラバスや時間割表と併せ、履修報告書に書かれた内容を見て、どのような授業であったか、本人がどのように取り組んだのかを確認します。履修報告書は単位認定の大切な根拠になります。受講した授業の内容や学んだことを具体的に時系列で書いてください。1 科目ごとに作成し、用紙 1 枚分しっかり記入するようにしてください。

Q 10 : 履修報告書が 1 枚では書ききれません。

A 10 : 履修報告書の用紙を複数枚にわたって記入してください。科目名番号・ページ数の記入を忘れないようにしてください。

Q 11 : 1 学期間または 1 年間でおよそ何単位認定されますか。

Q 11 : 留学先大学においてどのような科目で何時間の学習をしたか、また可否等、結果によって認定される単位の種類や単位数は大きく異なります。

また、在学留学の手引き（9. 単位認定の基準-認定科目・成績評価）にも記載のとおり、本学開講科目に読み替えるケースと、「外国語留学特殊科目」や「外国留学科目」として認定するケースがあります。本学開講科目に読み替える場合は、内容に類似性があることが原則となりますが、中には、「研究演習」などのように読み替えができない科目も存在します。その科目は、必ず本学で履修・修得しなければなりません。あらかじめ留学アドバイザーに確認しておいてください。

留学中は、生活環境の変化等により、思うように単位を修得できないケースがあります。また、渡航前に入年に計画した留学であっても何等かのトラブルによって、計画どおり単位を修得できないこともあり、卒業までの修得単位数に影響をきたすことが考えられます。思うように単位修得できないことも視野に入れ、本学で着実に単位修得するように努めてください。

渡航までに、その時点の成績（単位修得状況）、卒業に必要な単位について留学アドバイザーとともに確認し、自分の留学計画ではどのような単位認定が想定されるのかを把握

しておくことも大切な留学準備のひとつです。

Q12：単位数の算出方を教えてください。

A12：【単位換算の目安】※在学留学の手引き9.単位認定の基準を参照にしてください。

A) 【時間数による単位換算の目安】

科目の種類	留学先での授業時間	認定される単位数
講義科目, 演習	22.5 時間 (1,350 分)	2 単位
実習科目 (語学プログラムも該当)	22.5 時間 (1,350 分)	1 単位

B) 【欧州単位互換制度 (ECTS) をもとに換算する場合】

科目の種類	留学先での成績	認定される単位数
問わない (講義・実習科目等)	1.67ECTS	1 単位

留学先が発行した成績証明書に記載された合格科目の ECTS を合計し、総単位数を 1.67ECTS = 1 単位 (本学での認定単位) として換算します。少数点以下は切り捨てます。

Q13：留学先の大学で、自分の専攻と異なる分野について勉強することは可能ですか。

A13：現在の専攻に沿った科目を履修することを原則としますが、専門教育科目の領域を主として履修した上で、並行してそれ以外の科目を教養的に受講することは可能です。